

第88回リカレントセミナー (研修報告)

- 日 時 : 平成30年11月18日(日)9:30~12:45
○場 所 : 神戸薬科大学 11号館4階 第1演習室
○テ ー マ : フィジカルアセスメント
-基本手技から臨床現場への応用まで-
○受講者数 : 20名(「※実践薬学」受講学生6名含)

【タイムテーブル】

9:30~10:20	①フィジカルアセスメントの基本(レクチャー)
10:20~10:50	②シュミレーターを用いた聴診、血圧・脈拍測定の実技
10:50~11:00	休憩
11:00~11:15	③症例提示、SGD
11:15~12:10	④各ステーションでのフィジカルチェック、SGD
12:10~12:35	⑤発表、全体ディスカッション
12:35~12:45	まとめ
12:45~	閉会 アンケート用紙回収、単位シール交付

【研修風景】

① フィジカルアセスメントの基本(レクチャー)

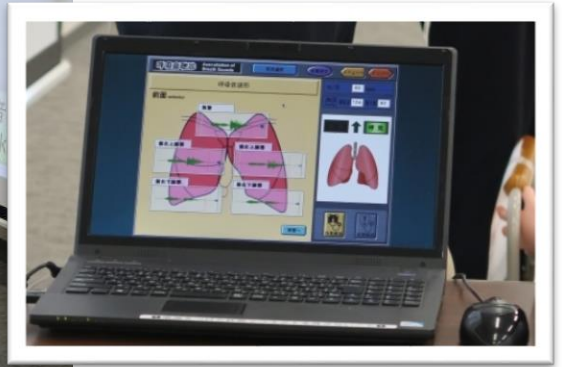


臨床薬学研究室・教授
江本 憲昭 先生による講義



脈拍・血圧の測定の仕方(提示と実演)

② シミュレーターを用いた聴診、血圧・脈拍測定の実技



フィジコなどを用いて呼吸音の聴取



血圧・脈拍測定

③ 症例提示、SGD

<SGDの流れ>

提示された症例から現在の病態（薬剤の作用・副作用を含めて）を考える。
可能な限り多くの病態を列挙する。

↓

各ステーションに移動

↓

提示された詳細な診療情報とフィジカルアセスメントから病態を絞る。

↓

その病態を確定するために必要な情報（検査を含む）を列挙する。

↓

代表の班による発表とディスカッション



SGDの様子

④ 各ステーションでのフィジカルチェック、SGD



血糖値測定



⑤ 発表、全体ディスカッション



<受講者からの感想>

- ・病態から予測してフィジカルアセスメントでしぼっていくプロセスが分かりやすく学べました。
- ・薬剤師としてできることの範囲が広がると思います。
- ・フィジカルアセスメントの重要性と方法を学ぶことができました。とてもわかりやすく今後に活かしていきたいと思います。
- ・聴診器の使い方がよくわかった。
- ・自身の知識不足を痛感（検査方法など）。呼吸音から、病態の悪化把握につながる方法が知れて良かった。診断プロセスなど音を聞き分ける練習も十分行えた。

etc...

以上